

記者発表資料
平成23年7月27日
畜産課（生産振興班）
担当：松田，鈴木(内線2853)

県産牛の放射性物質の全頭検査について

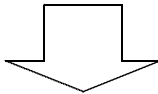
検査目的

安全性を確認した県産牛肉だけを消費者に提供するため，全農等の生産者団体と宮城県，仙台市が協力し，県内と畜場に出荷される全ての県産牛について，放射性物質の検査を実施する。

と畜から食肉出荷までの流れ と畜

- ・搬入場所：仙台市中央卸売市場食肉市場
- ・開始月日：8月1日（月）と畜分から

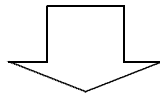
90頭搬入/日



検査材料の採材

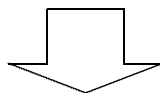
- ・と畜し，食肉検査等実施後，検査材料を採材

90頭検査/日



検査

検査機関：(財)宮城県公衆衛生協会ほか
検査機器：ゲルマニウム半導体検出器



検査結果による食肉出荷等の対応

暫定規制値以下：セリ，相対取引による販売
暫定規制値超過：流通させない

暫定規制値：500 Bq（ベクレル）/kg